

おーじとしずくとたなっちの あの町この村ぶらり旅

Vol.17 上富田町特集



上富田町、ココだよ!

スポーツが繋いでいく、心の絆。

「豊かです！水も、緑も、人情も！」がキャッチフレーズの上富田町は、和歌山県の南西部に位置し、東・北は田辺市、西・南は白浜町に隣接、中央部を富田川が流れています。古くから水陸交通の要衝で、中辺路街道と大辺路街道の分岐点、熊野詣の玄関口「口熊野」として栄えてきました。現在も、熊野へ通じる出発点であり、南紀の中核都市田辺市、観光の拠点白浜に隣接、空港にもほど近い地理的条件を活かした交通整備が進められています。

恵まれた気象条件の中、水稲、梅、みかんを中心とした農業も盛ん。また、神社、仏閣や熊野古道をはじめとする歴史的資源や優れた自然環境に恵まれています。特に近年は地域スポーツ、観光スポーツの振興に傾注。スポーツ施設も整備され、日本陸連公認コースとして認定された「紀州口熊野マラソン」が毎年開催されます。



上富田町へのアクセス

車の場合
阪和自動車道
松原JCT→南紀田辺IC
↓国道42号線(約2時間10分)

電車の場合
JR新大阪駅(東海道本線・阪和線 特急) ↓
JR田辺駅(紀勢本線) ↓
JR朝来駅(約2時間20分)

上富田町内は走りやすい広い道路ばかり。住宅地が多いので、人の往来は多め。車でお越しの際は歩行者に気をつけるのじゃぞ。



受け継がれる岡の獅子舞。

毎年11月下旬に八上神社で行われる「岡の獅子舞」は「獅子舞田楽」とも呼ばれており、稚児(女兒)おぼなち奉納、幣の舞、剣の舞などの舞が奉納されます。時代の移り変わりとともに少しずつ形を変え、町民の手によって大切に伝えられてきた伝統芸能は、和歌山県無形文化財に指定されています。



2008年上富田町勢要賞から撮影

大輪の花開く、大賀ハス。



田中神社横の大賀ハス田では、毎年7〜8月の期間、大賀ハスが開花します。7月初旬に見頃を迎え、大賀ハスに関する俳句を応募したり、フォトコンテストなどが開かれ、多くの観光客で賑わいます。

おかゆで「うら」? 伝統行事。



生馬地区にある地主神社では、毎年1月5日に「かゆい」が行われます。1年の農作物の出来や景気をかゆで占うもので、「みかん」「米」「景気」などと書かれた竹筒に入ったかゆの量で、豊作の上・中・下を占います。この地区で数百年続いている神事です。

町内を循環する、コミュニティバス。



4つの系統で町内を循環している「くちまのコミュニティバス」が便利。乗り降りしやすい低い乗降口(車いす用スロープ板付き)のバリアフリーバスです。大人200円(中学生以下、小人100円)、地元住民はもちろん、観光客でも気軽に利用できます。

富田川で楽しむ魚釣り。



和歌山県南部を流れる富田川は、上流にダムがないことから、アユ漁シーズンは多くの釣り愛好家が訪れます。アユのほかにもアマゴやモクスガニなどが捕れるそう。遊漁料などについて詳しくは「富田川漁業協同組合」にお問い合わせを。

富田川友遊フェスティバル



毎年8月最終土曜日に彦五郎公園で行われる「富田川友遊フェスティバル」では、よさこい踊りや大道芸人によるパフォーマンスなど、イベントが盛りだくさん。終盤には、富田川河川敷で約200発の打ち上げ花火がフェスティバルのラストを盛りあげます。



「なつむすびに夏休み最後の思い出を」がテーマのお祭りよ、夜店や茶がゆ早食い競争など、楽しいイベントがいっぱい!



町をもっと元気に! もっと活発に!

上富田町座談会

座談会の大きなテーマは「スポーツによる町づくり」。
「地域スポーツの振興」と「観光スポーツの推進」
この2つが重なり合って、上富田町を支えています。



● 地域スポーツの振興

【平尾】上富田町の地域スポーツ振興といえば、平成19年に民間の総合型地域スポーツクラブとして設立したSeaca(シーカ)ですね。

【山中】現在は約15種目のスポーツ教室があり、こちらも約600名参加してくれています。「スポーツや文化活動を通して、地域で子どもたちを育てる」が活動理念なんです。

【たな】設立前後で変わったことはありますか？

【山中】色んなスポーツを経験することで、子どもたちの体力向上はもちろん、友だちの和が広がりましたね。あと、Seacaの役員はプロ選手と知り合いが多く、プロチームがこでキャンプしたり、教室を開いてくれたりします。プロ選手のプレーを間近で見られるのは、子どもたちに良い影響を与えています。

【出羽】行政がひとつのクラブだけに協力するのは難しいんですが、上富田町は特例として協力して活動しているのはお互いにメリット。行政だけではできないことをSeacaと協力して成り立っています。

【平尾】熊野高校ラグビー部を指導されている瀬越先生は、どう思われますか？

【瀬越】最近では、上富田町スポーツセンターのような素晴らしい施設ができたことで、県外の強豪チームが合宿に来たり、練習試合のオファーも殺到しているんですよ。うちのチームより施設のほうが魅力みたいで(笑)。上富田町のように学校体育と地域スポーツクラブの協力が可能なのは、世界にも誇れる文化だと思います。今、色々な問題を抱えながらもSeacaと熊野高校との連携を、山中さんと相談させてもらいながら進めています。

【平尾】「熊野マノン」も最近参加希望者が増えて、平成24年の参加予定数は約6000名。



山中 善道さん
Yashimichi Yamataka
特定非営利活動法人くくまのクラブ「Seaca」理事長



平尾 好孝さん
Yoshitaka Hirao
上富田町教育委員会生涯学習課 課長補佐



出羽 正典さん
Masaru Dewa
上富田町教育委員会生涯学習課 係長

【出羽】こうしたイベントをやっているのはSeacaが地域スポーツを盛りあげ、地域コミュニティを育ててくれているからですね。

【瀬越】熊野高校の生徒も、競技力の向上だけでなく、色んな経験をさせてもらえます。

【山中】スポーツをひとつの軸にして、地域が繋がっていく気がしますね。あと、上富田町の上富田町青少年市民会議の企画で、東北地方太平洋沖地震で被災された福島県のことを持ち、31名をホームランという形で招待したんです。

【瀬越】福島の子たちはずっとグラウンドに出られなかったから、外で思いっきり体を動かすのを喜んでいました。あの子どもたちの時間は、熊野高校の生徒たちへの最大の思い出。スライの終盤に試合をするところになって「明日は公式戦のつもりで全力で行くからな」と本気になつた。

【吉田】この前うちの店で瀬越くんからこの話を聞いて、感動して泣いてしまいました(笑)

【平尾】でも最後の試合で、福島の子がアクシデントで鎖骨を折ってしまったんだよね。お見舞いに、みんなでラグビーボールに寄せ書きしてプレゼントしたんです。そして、その子のおいちゃんや元ラグビーマンたちが、その子の練習で鎖骨折るなんてよくあること、むしろ名誉に思え! って笑ってたって、後日電話をくれましたよ。

● 観光スポーツの推進

【山本】上富田町のPRポイントは、スポーツ施設はもちろん、「熊野」といわれるように、熊野古道の入口で王子が3つあること。合宿や試合観戦に訪れた方、観光するにはちょうど良い。そして美味しいものを食べて、ね、吉田さん。

【吉田】うちは町内で「熊野食堂」という、夜は寿司屋で昼はラーメン屋仕出しもやってます。この町には、特に郷土料理がないんです。



吉田 稔さん
Minoru Yoshida
熊野食堂 店主
もついちょう やつたら会 会長



山本 剛士さん
Tsuyoshi Yamamoto
上富田町役場 総務政策課 企画員

【たな】新しい熊野メニューを発信するとか？

【吉田】色々考えています。日々模索中ですね。

【たな】あほかの町の特産品とコラボレーションするのはどうですか？ ささみのイノブタとか、日高のクエとか、印南のトマトとか。

【瀬越】いや、熊野高校が育てているトマトも美味しいですよ。あと、ライムとシモンをかけた合わせた相模があるんですけど、マイルドで美味しいですよ。焼酎のお湯割りに最高です。

【吉田】それ売り出すか? 熊野のライムとシモンやから「熊野マノン」とか言うて(笑)

【たな】強そうなお名前! (笑)

【山中】上富田町の国道42号線に閑所を作るって話したことがあります。名産も観光施設もあまりないけれど、白浜や田辺に行く人は多い。上富田は通過点じゃなく、何かを自当に町に足留めできないかと思っていました。

【吉田】僕は自分の仲間内で、もうちょっとやってみようという町おこしの会をやっています。その中で、紀南地方は餅まきが有名なので、餅つきをしてみたり、この辺は茶粥が有名なので、茶粥早い競争をしたり…。課題はたくさんあるけど、継続して発信し続けたい町は変わらないう。何ごとをもすべて、笑顔とか楽しさがなければ継続できない。でも「辞めなければ失敗じゃない」僕は思っています。

【平尾】吉田さんをはじめとして、ホテルや旅館、飲食店、みんながおもてなしの気持ちを持って接してくれている。Seacaの活動のおかげで実現する色々なことを、行政も一緒に取り組んでいく。そして次世代を担う、中・高校生の方がこの町には必要不可欠。これからもっと活気のある上富田にしたいですね。

【たな】町をもっと元気にしたいというみなさんの情熱に感動しました。ありがとうございます。



瀬越 正敬さん
Masataka Segoshi
和歌山県立熊野高等学校ラグビー部 監督

上富田スポーツセンター Sports center in Kamironda



平成7年に完成した上富田スポーツセンターは、16ヘクタールという広大な敷地の中にあらゆるスポーツ施設が完備されています。きれいに整備・管理された芝がさわさわと風に揺れる心地良いグラウンドは、サッカーやラグビーができる天然芝の球技場が2面、人工芝の球技場が1面。そしてフットサルができる人工芝の屋内イベント広場とテニスコート4面には、夜間照明付きです。

また、県下屈指の野球場では、阪神タイガースをホームチームとした、日本プロ野球のファーム(2軍)リーグのひとつである「ウェスタンリーグ」の公式試合が行われ、同時に、こども対象に野球教室が開かれます。



2008年上富田町勢要覧から抜粋



天然芝グラウンド



広くて、本当にキレイな施設ねえ、全力で走り回りたくなっちゃうわ



人工芝グラウンド



紀州口熊野マラソン Kisyu kuchikumano marathon



毎年2月上旬に開催される上富田町の「大イベント」紀州口熊野マラソン。和歌山県内最大の規模で、フルマラソンとハーフマラソンは日本陸上競技連盟に公認されており、毎年全国各地から多くの参加者が訪れます。その数、約6000名とのこと。高低差が少ない走りやすいコースと、自然が多く景色も良いという理由が人気のひとつ。

種目は全6種類あり、フルとハーフをはじめ、年齢別に2・3・5キロメートルのコース。そして体力に自信がない方でも気軽に参加できる、ウォーキングの部もあります。老若男女問わず、家族全員で参加できる工夫がなされています。

私たちが上富田町を訪れた1月中旬、大会に向けてトレーニングを行うランナーもチラホラ見かけました。

口熊野マラソンの最大の魅力、それは「人と人が出会う場」でもあるということ。地域の人が、スポーツの町として高い意識を持っているからこそ、町内唯一の高校である熊野高校の生徒をはじめ、毎年町内外問わず約700名を超えるボランティアの方が、スタッフとして大会を支えます。

「沿道の声援に励まされて走りたかった」「また上富田町で走りたい」という、ランナーのリピーターも多いそうよ！参加者が年々増えているのも納得ね！



名産はひょうたん



「もたてて広瀬 贈り物としてお土産として購入してね」

招福、長寿のシンボルとして親しまれるひょうたんは、上富田町の名産品。稲葉根王子近くにある深見橋は、通称「ひょうたん橋」と呼ばれ、色々な大きさや形のひょうたんを展示するスペースもあります。

かみとんだ



ウマイ!

口熊野ラーメン

上富田町の「口熊野ラーメン」は、豚骨ベースの醤油味が基本の和歌山ラーメンに鶏ガラを加えて、豚骨の匂いを抑えたバランスの良いあっさり味が特徴。連日大盛況です。ほかにも、金山寺みそラーメンや魚介ベースのスープがクセになるつけめんも。

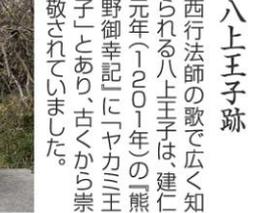


一瀬王子
江戸初期に不明になってしまいましたが、紀州藩が調査し寛文9年(1669年)に再興され、明治40年(1906年)春日神社に合祀されました。



上富田町を通る、熊野古道。

八上王子跡
西行法師の歌で広く知られる八上王子は、建仁元年(1201年)の「熊野御幸記」に「ヤカミ王子」とあり、古くから崇敬されていました。



稲葉根王子
熊野九十九王子の中で、格別高い准五体王子として、格別に崇敬されていました。別名稲荷王子と呼ばれ、稲荷信仰に深い関係を持っています。



上富田町をまるまる楽しめる魅力を紹介するわ!



郵便局

その昔、富田川のこの地点で、郵便物に乗せた川渡しを県営で行っていた由来から、橋ができたときに「郵便橋」と命名されました。「郵便橋」という名前の橋は、日本にはひとつしかないそうです。

オンリーワンとナンバーワン!

だるま寺(興禰寺)
興禰寺の白いだるま座像は、昭和48年に建立され「日本一のだるま」として親しまれています。ほかにも、興禰寺は多くの町指定文化財を有しており、回遊式の庭園では四季折々の花が美しく咲き揃います。



めくるめく至高のスイーツ
紀州うめたまごを使用したしっとり系のスポンジ、ミルクの濃厚なクリーム…激うま! 違つお店だけ「好きです!」上富田になる洋風もちりせんべい、いわゆるしつとり系クッキーもあります。気軽に食べ歩きできちゃつよ。



上富田町にはスイーツ店が多いんですよ。その中でも「口熊野の醇ロール」なる魅力的なスイーツに感激!

かわらけで厄除け祈~願ッ!!!



約1300年の歴史を持つ開運・厄除の霊場「救霊深すくまに」観音は、山帯が大きな一枚岩に覆われています。たなうちも「かわらけ投げ」で厄除け祈願。かわらけを山頂から思いっきり投げ、厄や病気を祓うんだそう。

